

## 芸術監督・斎藤 純のショートエッセイ 石神の丘から 109

私はクラシック音楽の中でも古楽が好きです。古楽はバロック以前（代表的な作曲家を挙げると、バッハ、ヴィヴァルディ、ヘンデル、コレッリ、ダウランド、リュリ、クーペラン、スカラッチェ、テレマンなど）の音楽を指します。

クラシックの主流である「モダン」に対する形で「古楽」があるわけですが、細かい説明よりも演奏を聴けばその違いがよくわかります。ワルターやカラヤンが指揮したバッハと、ヘレヴェッヘやガーディナーら古楽の指揮者によるバッハを聴き比べると、前者はこっぴりと脂っこく、後者はあっさりしていると感じます。室内楽を聴き比べても、やはり前者は重厚なニス塗りの家具を、後者は白木のシンプルな家具を連想させます。

古楽の特徴はムーブメントでもあることです。なにしろ、楽譜の表記から演奏習慣、そして使用する楽器もその後のいわゆるクラシックとは異なります。たとえば、古楽で活躍するリュート、チェンバロなどの楽器はバロックの次の古典派（モーツァルト、ベートーヴェン）の時代に駆逐されました（ちなみに、リュートはギターの前祖、チェンバロはピアノの前祖と思われがちですが、確かに代用されてはいるものの、実は前祖ではありません）。

古楽は、作品（楽譜）の発掘（古楽ムーブメントのおかげでこれまで忘れ去られていた名曲の数々が再評価されるようになりました）、演奏習慣の研究（これは専門的になるので割愛します）、当時の楽器の再現など実にたくさんの研究の成果の上に成り立っています。たとえば、リュートやチェンバロ、そしてバロック以前に使われていたバロックヴァイオリンとヴァロックボウ（弓）などは現存していません（残っていたとしても実用には耐えられません）から、資料を元に再現しなければなりません。その際、絵画が役に立ちます。幸いなことに、正確な写実によって当時の楽器が描かれた作品がたくさん残っています。それを参考にします。

そのような研究の重要な本拠地のひとつが、スイスのバーゼル・スコラ・カントルムです。

今秋から、盛岡出身のバロック・ヴァイオリニスト吉田爽子さんが、バーゼル・スコラ・カントルムに留学しました。かねてから吉田さんの演奏会を石神の丘美術館で開催したいと思っていましたが、留学を終えて帰国するまで実現はお預けとなりました。遠く離れた岩手町の空の下から、吉田さんのご健勝をお祈りしています。

石神の丘美術館通信《いしび》

ishibi

2018. 10 Vol.187

平成 30 年 10 月発行  
発行・岩手町立石神の丘美術館  
岩手県岩手郡岩手町五日市  
10-121-21 〒028-4307  
TEL 0195-62-1453  
FAX 0195-62-1477  
<http://museum.ishigami-iwate.jp/>

屋外展示場はリニューアル工事の為  
2020年春までお休みしています

絵画・写真・アニメーションなど、岩手ゆかりの若手美術家の多彩な表現をご紹介します

Metamorphose



石田貴裕



小野ハナ



鈴木研作

North Wind Project  
シリーズ企画「北から吹く風」  
Vol.2 メタモルフォーゼ：変化・変容

2018年 9月29日(土)~11月4日(日)

# Metamorphose

石田貴裕 小野ハナ 鈴木研作

シリーズ企画「North Wind project / 〈北から吹く風〉」の第2回展を開催します。

このシリーズは、岩手にゆかりある若い世代の美術家をゆるやかなテーマのもとで紹介するものです。

今回は、〈Metamorphose / メタモルフォーゼ〉をキーワードに石田貴裕（北上市在住）、小野ハナ（盛岡市出身・神奈川県横浜市在住）、鈴木研作（盛岡市在住/県立沼宮内高等学校美術講師）の作品を取りあげます。

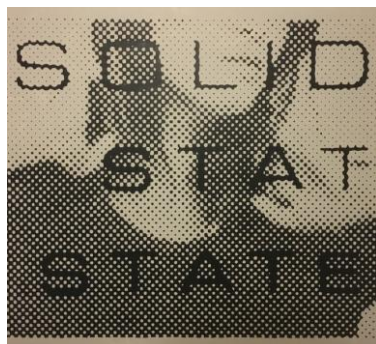
〈Metamorphose / メタモルフォーゼ〉は変化・変容を表す独語です。この言葉は、例えば、自然界において幼虫が蛹そして蝶へと変わる様を、あるいは、満月をきっかけに人が獣や半獣に変わるような変身譚の一場面を表します。

蝶や人狼のようなドラマティックな変化ではないにせよ、私たちの体も新陳代謝により、細胞が知らずのうちに入れ替わっています。日々変化・変容する肉体と精神が生み出す作品がメタモルフォーゼするのは当然のことなのでしょう。しかし当然とはいえ、それは不思議で魅力的なことでもあると思うのです。三者三様のメタモルフォーゼをぜひご覧ください。

## 【お知らせ】

〈東北文化の日〉10月27日（土）、28日（日）  
および〈文化の日〉11月3日（土・祝）は  
観覧無料となります

展覧会期：9月29日（土）～11月4日（日）  
開館時間：9:00～17:00（入館は16:30まで）  
休館日：毎週月曜日（月曜日が祝日の場合翌日）  
観覧料金：一般300円／大・高生200円  
中学生以下無料



石田貴裕 《solid state screen burn 1》  
2017年 アクリル、キャンバス



小野ハナ 《such a good place to die》ステール  
2016年 映像作品



鈴木研作 《手樽公園の風》  
2018年 写真作品

## 第57回 岩手町芸術祭【展示部門】

展示作品：絵画・書道・文芸（詩・短歌・俳句）・華道・写真・手工芸など  
出展者：町内小中学校、町芸術文化協会、町内各サークル、個人

会期：11月10日（土）～25日（日）【**入場無料**】  
開館時間：9:00～17:00（入館は16:30まで／最終日25日は15:00まで）  
休館日：11月12日（月）、19日（月）  
展示会場：石神の丘美術館企画展示室・ギャラリーホール

【主催】岩手町教育委員会・岩手町芸術文化協会・岩手町学校教育研究会  
問い合わせ先：岩手町教育委員会事務局 社会教育係 TEL 0195-62-2111（内線342）



## 美術館隣接 道の駅 石神の丘 / レストラン石神の丘情報

道の駅 石神の丘 TEL0195-61-1600 / レストラン石神の丘 TEL0195-61-1602

## 営業時間のお知らせ

11月からの道の駅「石神の丘」各施設の営業時間をお知らせいたします。

- 産直施設 / 9:00～18:00
- レストラン / 10:30～18:00  
（ラストオーダーは 17:30）
- 茶屋っこ / 9:30～16:00  
（定休日：木曜日）

## 10月からの新メニュー



## 今年もやります!! 秋の大収穫祭

11月17日（土）・18日（日）  
9:30～15:00

焼きリンゴと  
パニラアイス  
～カラメルソース添え～  
330円（税込）

